

研究課題名「広範囲舌切除・再建術患者の経口摂取自立までの期間に関与する要因の検討」に関する情報公開

1. 研究の対象

2005年2月7日～2016年4月25日までに当院耳鼻いんこう科にて遊離組織移植および気管切開を伴い舌亜全摘/全摘手術を受けた患者22例。

2. 研究目的・方法

広範囲舌切除・再建手術では術後嚥下機能低下が問題となるため、当院では全例、言語聴覚士（ST）が介入している。適切なリハビリテーション立案のためには重症度やリスク評価、機能予後の予測が重要である。今回我々は「経口摂取自立までの期間（NGtube 除去）」に影響する要因について後方視的に調査する。

「経口摂取自立までの期間」を年齢（中央値の上下）、stage 分類（3と4）、T分類（4とそれ以下）、術前治療の有無、周術期合併症の有無、術後照射の有無、術後初回AsRスコア（7以上かどうか）の項目ごとにKaplan-Meier法にて算出しlog-rank検定を行う。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

年齢、性別、身長、治療歴・治療内容、既往歴、発症年齢、疾患重症度、手術歴、検査歴、喫煙歴、症状、合併症、生命予後、死亡原因、検査データ（呼吸機能、レントゲン画像、CT、MRI、FDG/PET-CT検査、血液、病理検査、微生物学検査、心電図、心エコー検査など）、リハで得られた情報（リハ内容、嚥下機能評価、など）など。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

名古屋大学医学部附属病院 リハビリテーション部
言語聴覚士 小山恭平

〒466-8550 名古屋市昭和区鶴舞町 65 番地

名古屋大学医学部附属病院 リハビリテーション部

電話番号：052-744-2687 FAX 番号：052-744-2688

e-mail: k.koyama.st@med.nagoya-u.ac.jp

名古屋大学医学部総務課 電話番号：052-744-1901

研究責任者：

名古屋大学医学部附属病院 リハビリテーション科
門野 泉